

関西支部 LMAG 第 24 回技術講演会
& 関西支部 第 123 回技術講演会

IEEE Edison Medal 受賞記念
第 1 回シンギュラリティ技術講演会

2023/12/7 記録

Report of 24th LMAG Kansai Technical Lecture Meeting
& 123rd Kansai Section Technical Lecture Meeting

IEEE Edison Medal Award Commemoration
1st Singularity Technical Lecture Meeting

LMAG 関西 事務局

講演会の概要 (Summary)

講演テーマ (Title) :

SiC パワーデバイス ～カーボンニュートラル実現への新展開～
SiC Power Device ～ Progress towards Carbon Neutrality ～.

講演者 (Lecturer) :

京都大学 名誉教授 松波弘之氏
Prof. Hiroyuki Matsunami, Professor Emeritus, Kyoto University

日時 (Date) :

2023 年 12 月 7 日(木) 16:30 – 18:10

場所 (Place) :

大阪工業大学 (梅田キャンパス) OIT 梅田タワー 2 階セミナー室
Osaka Institute of Technology (Umeda Campus) OIT Umeda Tower 2F

主催 (Organizer)

IEEE Kansai Section Technical Program Committee
IEEE Kansai Section Life Members Affinity Group

共催 (Co-sponsor)

IEEE Japan Council
Osaka Institute of Technology

参加者 (Participants)

213 名 (IEEE 会員 87 名, 非会員 126 名) = 会場及びリモート(Zoom)参加合計

プログラム (Program)

- 16:30 開会の挨拶
- 16:40 松波教授によるご講演
「SiC パワーデバイス ～カーボンニュートラル実現への新展開～」
- 17:40 質疑応答
- 18:00 閉会の挨拶
- 18:10 感謝状贈呈、記念撮影
- 18:30 懇親会 (希望者のみ)

概要(Brief Report)

松波弘之・京都大学名誉教授の「IEEE Edison Medal」受賞を記念して、IEEE 関西支部 LMAG 第 24 回技術講演会を主催しました。本講演会は、「第 1 回シンギュラリティ技術講演会」として、IEEE 関西支部・技術プログラム委員会との共同主催により開催されました。

冒頭、LMAG 関西 Chair の榎木氏より、同技術の意義と同技術がもたらす世界産業への影響について挨拶があり、引続いて、松波教授から「SiC パワーデバイス：カーボンニュートラル実現の新展開」と題してパワーデバイスにおけるブレークスルーについて詳しく講演頂きました。SiC は、従来のシリコン (Si) に比べてスイッチング速度が速く、動作損失を大幅に低減できるパワースwitching用半導体材料であり、材料の優位性を活かし、すでに電気自動車 (EV) などのパワーエレクトロニクス機器への応用が進んでいます。電気自動車 (EV) など最近の応用分野の拡大、さらに、日本・関西発の技術として燃料電池への期待についても紹介頂きました。

参加者は、松波教授の素晴らしい研究成果と講演会場に展示された SiC ウェーハのサンプルに大変感銘を受けていました。講演後の質疑応答では、研究の詳細や将来の応用の可能性について活発な質問と議論が交わされました。ご講演後には、「IEEE Edison Medal」受賞への祝意を込めて、JC Chair はじめ関係 Chair 4 者署名の感謝状が贈呈されました。

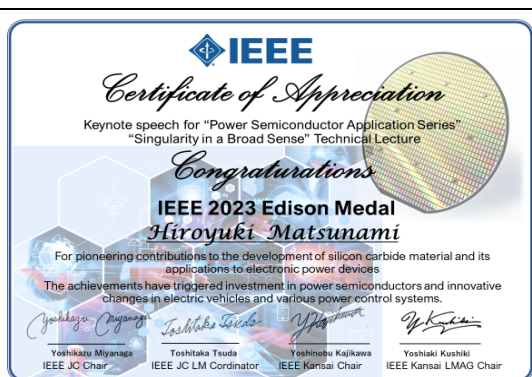
懇親会 (Optional get-together)

22 名の参加を得て、大阪工業大学梅田キャンパスの 21 階レストランにて行われた。ご講演の松波教授を囲んで親しく歓談の場を持つことが出来ました。

写真(Photo)



松波教授の講演会会場



松波教授への感謝状



集合写真



懇親会

以上